

# NASDAQ 100 2倍ベア

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	2024年7月22日～2026年10月22日	
運用方針	日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行なっています。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. 米国の株式市場の値動きを享受する債券（円建） ロ. 米国の株価指数先物取引 ハ. ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンドの受益証券 二. わが国の債券 ホ. 米国の債券 ヘ. ETF（上場投資信託証券） ト. ETN（上場投資証券）
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

## 運用報告書(全体版) 第2期

(決算日 2025年10月22日)  
(作成対象期間 2024年10月23日～2025年10月22日)

■信託期間終了日を2026年10月22日から2029年10月22日に変更する予定です。（変更実施日：2026年1月16日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NASDAQ100指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式先物比率	公社債組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
1期末 (2024年10月22日)	円 9,271	円 0	% △ 7.3	10,444	4.4	—	99.8	百万円 276
2期末 (2025年10月22日)	5,523	0	△ 40.4	12,954	24.0	—	99.7	697

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NASDAQ100指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

当ファンドは、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般的のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Index® の一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq® および NASDAQ-100 Index の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、NASDAQが決定、構築および算出を行なう NASDAQ-100 Index の使用を許諾することに限られます。NASDAQは、NASDAQ-100 Index の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、NASDAQ-100 Index® とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Index またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他のいかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつ NASDAQ-100 Index またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。



# 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当座成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

期首：9,271円

期末：5,523円（分配金0円）

騰落率： $\triangle 40.4\%$ （分配金込み）

## ■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざした運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## NASDAQ100 2倍ベア

年 月 日	基 準 價 額	N A S D A Q100指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式先物比 率	公 社 債 組入比率
		(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2024年10月22日	円 9,271	% —	10,444	% —	% 99.8
10月末	9,242	△ 0.3	10,458	0.1	— 98.7
11月末	8,916	△ 3.8	10,647	1.9	— 99.7
12月末	8,354	△ 9.9	11,026	5.6	— 117.7
2025年 1月末	8,317	△ 10.3	11,046	5.8	— 99.5
2月末	9,078	△ 2.1	10,560	1.1	— 105.6
3月末	10,168	9.7	9,914	△ 5.1	— 101.4
4月末	9,252	△ 0.2	10,052	△ 3.8	— 99.7
5月末	7,596	△ 18.1	10,994	5.3	— 102.1
6月末	6,835	△ 26.3	11,602	11.1	— 96.3
7月末	6,398	△ 31.0	12,022	15.1	— 105.4
8月末	6,199	△ 33.1	12,212	16.9	— 100.9
9月末	5,772	△ 37.7	12,686	21.5	— 101.6
(期 末) 2025年10月22日	5,523	△ 40.4	12,954	24.0	— 99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2024.10.23～2025.10.22)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、急落後上昇に転じ、当作成期末にかけて史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当作成期首より経済指標の改善等から堅調に推移し、2024年11月初旬には、大統領選挙でトランプ氏が勝利したことなどが好感され、上昇に弾みがつきました。12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際には、その後の利下げペースの減速が示唆されたことで株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、大幅に下落しました。さらに、4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われ、当作成期中の安値を記録しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されることなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退したことや、インフレ加速が見られない中で雇用情勢が悪化しF R Bの利下げ観測が強まることなどが好感され、ほぼ一本調子で上昇しました。9月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定すると、A I（人工知能）・半導体関連株主導で続伸し、史上最高値を更新して当作成期末を迎えるました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として連動債券（※）に投資し、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざした運用を行ってまいります。

※米国の株式市場の値動きを享受する債券（円建）

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

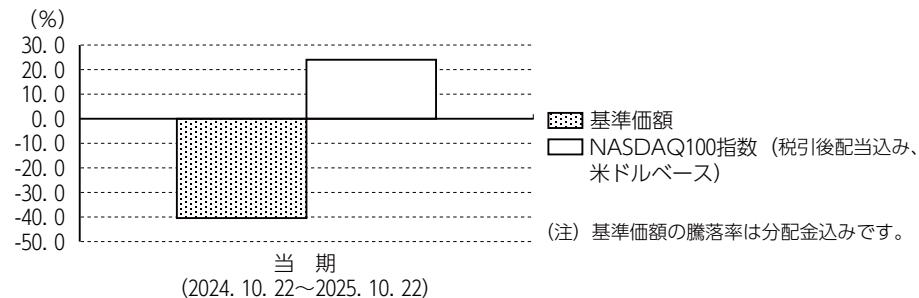
(2024. 10. 23 ~ 2025. 10. 22)

連動債券に投資を行い、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となるよう調整しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送させていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2024年10月23日 ～2025年10月22日	
<b>当期分配金（税込み）(円)</b>	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期継越分配対象額 (円)	2	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期継越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として連動債券に投資し、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度逆となることをめざした運用を行ってまいります。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

## 1万口当たりの費用の明細

項目	当期 (2024.10.23～2025.10.22)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	97円	1.224%	信託報酬=当成期中の平均基準価額×信託報酬率 当成期中の平均基準価額は7,911円です。
(投信会社)	(42)	(0.536)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(52)	(0.660)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料=当成期中の売買委託手数料／当成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税=当成期中の有価証券取引税／当成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0.040	その他費用=当成期中のその他費用／当成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	100	1.263	

(注1) 当成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

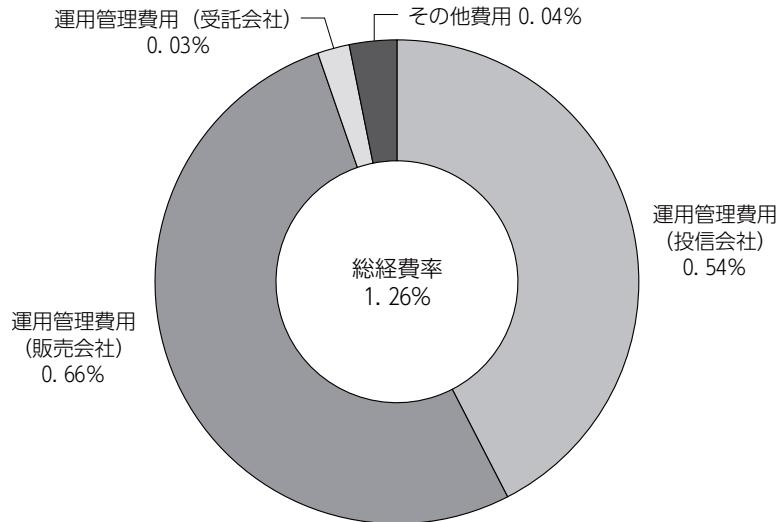
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。

純資産総額に対して年率0.22%以下、その他各種費用等

**■売買および取引の状況****公 社 債**

(2024年10月23日から2025年10月22日まで)

		買付額	売付額
国内	社債券	千円	千円
		2,132,318	1,428,409 (一)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

**■主要な売買銘柄****公 社 債**

(2024年10月23日から2025年10月22日まで)

当		期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
HARP ISSUER PLC 2029/7/26 (ユーロ円債)	千円 2,132,318	HARP ISSUER PLC 2029/7/26 (ユーロ円債)	千円 1,428,409

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

**■利害関係人との取引状況等****当作成期中における利害関係人との取引はありません。****■組入資産明細表****(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）**

作成期	当期					期末		
	区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年末満
普通社債券		千円 1,237,000	千円 695,181	% 99.7	% —	% —	% 99.7	% —

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

当期末					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
普通社債券	HARP ISSUER PLC	% —	千円 1,237,000	千円 695,181	2029/07/26

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年10月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	695,181	92.7
コール・ローン等、その他	54,591	7.3
投資信託財産総額	749,773	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年10月22日現在

項目	当期末
(A)資産	
コール・ローン等	749,773,502円
公社債(評価額)	23,700,242
未収入金	695,181,630
(B)負債	
未払金	30,891,630
未払解約金	52,199,316
未払信託報酬	9,222,560
その他未払費用	38,803,219
(C)純資産総額(A-B)	4,145,685
元本	27,852
次期繰越損益金	697,574,186
(D)受益権総口数	1,263,000,449口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,523円

\*期首における元本額は297,744,165円、当作成期間中における追加設定元本額は4,534,457,680円、同解約元本額は3,569,201,396円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は5,523円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は565,426,263円です。

## ■損益の状況

当期 自2024年10月23日 至2025年10月22日

項目	当期
(A)配当等収益	101,750円
受取利息	95,923
その他収益金	5,827
(B)有価証券売買損益	△ 170,841,556
売買益	231,896,661
売買損	△ 402,738,217
(C)信託報酬等	△ 6,764,788
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 177,504,594
(E)前期繰越損益金	△ 53,962
(F)追加信託差損益金	△ 387,867,707
(配当等相当額)	(△ 331,271)
(売買損益相当額)	(△ 388,198,978)
(G)合計(D+E+F)	△ 565,426,263
次期繰越損益金(G)	△ 565,426,263
追加信託差損益金	△ 387,867,707
(配当等相当額)	(△ 331,271)
(売買損益相当額)	(△ 388,198,978)
繰越損益金	△ 177,558,556

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	331,271
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	331,271
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	331,271
(h) 受益権総口数	1,263,000,449口

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2026年10月22日から2029年10月22日に変更する予定です。(変更実施日：2026年1月16日)

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

---

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則とした規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## 運用報告書 第16期（決算日 2024年12月9日）

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

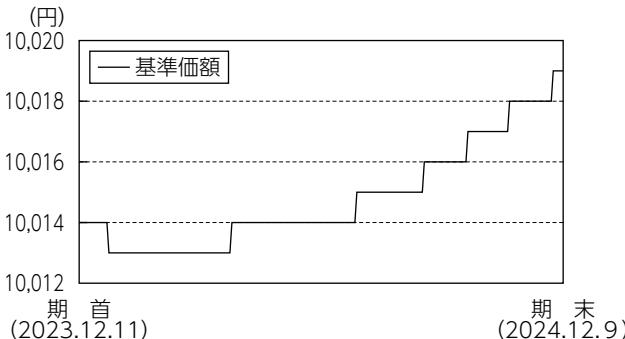
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## ■当成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 約 入 比	債 率
	騰 落 率	単 位		
(期首)2023年12月11日	10,014	%	—	—
12月末	10,014	0.0	—	—
2024年 1月末	10,013	△0.0	—	—
2月末	10,013	△0.0	—	—
3月末	10,013	△0.0	56.8	—
4月末	10,014	0.0	55.6	—
5月末	10,014	0.0	58.1	—
6月末	10,014	0.0	54.0	—
7月末	10,015	0.0	54.0	—
8月末	10,016	0.0	55.0	—
9月末	10,017	0.0	60.0	—
10月末	10,018	0.0	59.1	—
11月末	10,018	0.0	62.9	—
(期末)2024年12月 9日	10,019	0.0	62.9	—

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・謄落率】

期首：10,014円 期末：10,019円 謄落率：0.0%

#### 【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

### ◆投資環境について

#### ○国内短期金融市況

当成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3ヶ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3ヶ月

物）の利回りは低位で推移しました。

### ◆前成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

### ◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

## ■売買および取引の状況

### 公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

	買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円
国債証券	95,595,643	(63,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨ててあります。

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期			
買 付	売 付		
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1219国庫短期証券 2024/6/24	32,999,307		
1258国庫短期証券 2024/12/23	32,596,486		
1239国庫短期証券 2024/9/24	29,999,850		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨ててあります。

## ■組入資産明細表

## (1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末					
	区分	額面金額	評価額	組入比率	うちB 格以下	残存期間別組入比率
					組入比率	5年以上 2年以上 2年末満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%
	32,600,000	32,599,453	62.9	—	—	62.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および付替情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	当期末		
		年利率	額面金額	評価額
国債証券	1258国庫短期証券	%	千円	千円
		—	32,600,000	32,599,453
				2024/12/23

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円	%
コール・ローン等、その他	19,265,458	37.1
投資信託財産総額	51,864,911	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当期末
(A) 資産	51,864,911,730円
コール・ローン等	19,265,458,266
公社債(評価額)	32,599,453,464
(B) 負債	2,765,000
未払解約金	2,765,000
(C) 純資産総額(A-B)	51,862,146,730
元本	51,764,911,701
次期繰越損益金	97,235,029
(D) 受益権総口数	51,764,911,701口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円

\*期首における元本額は62,579,567,123円、当座成期間中ににおける追加設定元本額は19,540,096,318円、同解約元本額は30,354,751,740円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：	
ダイワドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）	48,964,798円
ダイワドル・ペアファンド（適格機関投資家専用）	3,520,288,985円
ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF S用）（適格機関投資家専用）	1,089,639円
ダイワ・Jリートペア・ファンド（適格機関投資家専用）	595,752,000円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01（部分積みヘッジあり/適格機関投資家専用）	1,518,511円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07（部分積みヘッジあり/適格機関投資家専用）	1,993,906円
ダイワノリュー・パートナーズ チャイナ・ヘッスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αカフトロ（毎月分配型）	1,346円
通貨選択型 アメリカン・エクイティ・αカフトロ（毎月分配型）	1,346円
オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）	1,973円
オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）	1,973円
オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）	1,973円
オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）	1,973円
NYダウ・トリップル・レバレッジ	1,079,436,135円
世界セレクティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）	998円
世界セレクティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）	998円
NASDAQ100 3倍ペア	675,399,527円
ボーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）	998円
ボーレン米国グロース株式ファンド（予想分配金提示型）	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスト・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）	8,076,387,870円
ダイワJGBペア・ファンド2（適格機関投資家専用）	37,760,624,420円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型） ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型） アジア通貨・コース（毎月分配型）	998円
ジャヌス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし/資産成長型）	999円
ジャヌス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり/資産成長型）	999円
ジャヌス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし/年4回決算型）	999円
ジャヌス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり/年4回決算型）	999円
ダイワ米国債7-10年ラーテ型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル -	997,374円

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,019円です。

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## ■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月9日

項	目	当期
(A) 配当等収益		27,861,093円
受取利息		29,709,921
支払利息		△ 1,848,828
(B) 有価証券売買損益		82
売買益		82
(C) 当期損益金(A + B)		27,861,175
(D) 前期繰越損益金		85,071,521
(E) 解約差損益金		△44,514,349
(F) 追加信託差損益金		28,816,682
(G) 合計(C + D + E + F)		97,235,029
次期繰越損益金(G)		97,235,029

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。